

鳥取県の県土整備行政を支える職員と組織は、計画の立案や地域に密着した施設管理など、市町村や国と調整・連携しつつ、技術力や組織力を的確に発揮していくことを求められています。

組織

- ・災害時の市町村応援（査定や技術的支援等）
- ・自然災害発災時は、速やかに体制を構築し、緊急対応・復旧工事を実施
- ・市町村界を越え、地方機関を跨いだ機動力のある広域的な対応

▼R5.1.27国道482号（佐治町）
倒木による電柱倒壊、全面通行止



▲近年増加する集中豪雨への対応として排水ポンプ車を配備

技術

- ・トンネル・長大橋梁等の難易度の高いインフラ施設的设计・施工・管理
- ・洪水や津波から土石流まで、地形・環境等の様々な地域特性に基づき求められる外力設定や対応の判断

▼赤松川（鳥取市中村）に整備した透過型砂防堰堤



▲山陰近畿自動車道「岩美道路」浦富高架橋の桁架設状況

人材育成

- ・技術力向上と将来を担う人材の確保と育成を目的とし、業界団体や市町村を含めて、一定の人数の募集による研修
- ・地域の皆様や業界の技術者との良好なパートナーシップの構築は、先輩職員によるOJTの一步から
- ・高校への仕事紹介や実技講習、小中学校での防災教育等を全県で展開

▼鳥取県建設技術センターでの研修の様子（県、市町村、建設業）



▲倉吉農業高等学校との舗装実習の様子

経験

- ・日頃のモノづくりをベースとしつつ、広い範囲で、多様な災害対応を経験することを活かした技術支援
- ・市町村が所管しない砂防施設、重要港湾施設、空港など多様なインフラ管理

▼大規模災害時の復興支援（平成28年熊本地震）



▲町道の道路法面崩落に対する地すべり対策の技術支援（湯梨浜町）

次代に向けて

- ・AIやビッグデータなどの先進技術を活用し、市町村も利用可能なシステムを構築
- ・ロボット技術を活用した橋梁点検や道路メンテナンス、ICT建機等の普及に向けた技術実証フィールドの整備など、未来の建設産業に資する先行的な投資と取組み

▼ビッグデータを活用した交通流分析
鳥取市周辺の人流れ経路分析



▲鳥取大学浜坂キャンパスにおけるICT建機等の導入・普及に向けた建設技術実証フィールドの整備

地域との連携

- ・自然環境、文化財等に対する影響を考慮し、関係者と協議しつつ、オーダーメイドの設計・施工管理
- ・事業実施に付帯する電力・水道事業者、交通管理者との協議や事業マネジメント
- ・地権者や近隣の地域住民、営農者等と信頼関係を構築し、円滑に事業を推進

▼現地協議の様子



▲現地協議の様子